

# 消滅可能性都市からの脱却～持続して発展できる「国際アート・カルチャー都市」への挑戦～

## 東京都豊島区（2020年度選定）

<h3>1. 地域の特徴と課題及び目標</h3>	<p>豊島区は東京23区の西北部に位置している。副都心「池袋」を有し、人口密度日本一、75歳以上の単身高齢者世帯割合日本一(全国市区部)、1割以上の外国籍住民などの特徴がある。</p> <p>マンガの原点「トキワ荘」など文化の土壌がある本区は、2014年に指摘された「消滅可能性都市」による人口減少問題を国全体の課題であると捉え、そこからの脱却を図る日本のモデル都市の一つとなるべく、豊島区独自の解決策として持続発展可能な都市の具体的な将来像である「国際アート・カルチャー都市構想」を進めてきた。本区のSDGsを区民・区内団体・区内外企業等に浸透させながら、同構想の掲げる「まち全体が舞台の誰もが主役になれる劇場都市」の実現を目指していく。</p>	<h3>2. 関連するゴール</h3>	
<h3>3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)</h3>	<p>特色ある池袋駅周辺4公園など様々なまちの舞台を生かして、文化を軸にしたまちづくりに取り組んでいる。文化が有する「想像力」「創造力」で、まちを総合的にデザインし、国内外へ発信することで都市イメージを向上させる。それによって居住者や来街者を増やし、まちへの愛着・誇りを育み、地域経済の活性化や区民税の増加等につなげ、区民サービスに還元する好循環を生み出していく。</p>		
<h3>4. 自治体SDGs推進等に向けた取組</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊島区のまちをもっとよくなることを「企業」と「行政」で考えて動く官と民が連携した豊島区ならではの新しいプラットフォーム「チームとしま」を発足。</li> <li>・「人」に焦点を当てた日頃のSDGsを紹介する「SDGsアクション」特設ホームページをさらに充実させ、「チームとしま」サイトを立ち上げ。「チームとしま」参画企業の連携を強化した。</li> <li>・庁内のSDGs取組み度調査の実施。</li> <li>・毎週実施しているファーマーズマーケットにて各部局の取組みを紹介するSDGsブースを展開。</li> <li>・持続発展可能な都市構想実現に向けた活動の担い手「豊島区国際アート・カルチャー特命大使／SDGs特命大使」制度の構築。</li> </ul>	<h3>6. 取組成果</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「チームとしま」と連携し、地域課題解決に向けて、企業と区が定期的に意見交換を行うことで官民の連携を推進。参加企業は約280社（2023年度末）。</li> <li>・「チームとしま」参画企業からの提案により、2023年11月、4つの公園の1つである「グローバルリング」において、としまストリートフェスを開催し、2日間で3万人を動員。「23区で1番公園面積が狭い」という特徴を逆に「豊島区らしい」「狭い場所でもできるアーバンスポーツ」のイベントを実施し、区内外へもプロモーションすることができた。</li> <li>・SDGsをより身近に感じてもらうことを目的とした冊子「としまSDGsチャレンジブック」の継続的な配布・周知、また区民向け出前講座や大学での講演などにより区民等のSDGsに関する認知度向上を図るとともに、シティプロモーション担当と連動しながら広く本区のSDGs施策についてプロモーション展開することで、さらなるまちの価値向上を図った。</li> <li>・SDGs取り組み状況の診断結果は、総合スコア73%で、SDGsプラスの基準値を超え、本区のSDGsの取り組みはおおむね順調に進んでいることを確認。</li> </ul>		
<h3>5. 取組推進の工夫</h3> <p>豊島区には誰をも受け入れ、多彩で多様な文化を育んできた土壌と歴史がある。文化にはまちに賑わいをもたらし、人の心を豊かにし、平和な社会を創出する力がある。</p> <p>本区が一貫して進めてきた文化を基軸にしたまちづくりを礎とし、特命大使をはじめ、区民・区内団体・区内外企業が一体となって、持続発展可能なまちづくりを進めている。</p>	<h3>7. 今後の展開策</h3> <p>特色ある4公園等を核にしたまちづくりにより、回遊性を生み出し、まちの舞台を磨き上げるとともにその価値の向上を図ってきた。今後は、これまでのまちづくりをさらに進め、人間優先の水平開発による「ウォークブル」なまちづくりを推進し、かつてない新たな魅力を生み出していく。</p> <p>2023年度に新たなに発足した「チームとしま」と連携し、様々な地域課題の解決に向けて、官と民が一緒になってまちの発展に向けて事業を進めていく。</p>		
<h3>8. 他地域への展開状況（普及効果）</h3>	<p>自治体SDGsモデル事業の舞台であり池袋駅周辺4公園の1つである「としまみどりの防災公園（イケ・サンパーク）」において、埼玉県や交流都市等も参画するファーマーズマーケット（豊島区SDGsモデル事業の一環）を継続的に実施。さらに、同年にSDGs未来都市に選定されたことを機に、岩手県岩手町との連携を継続的に進めている。</p>		

# SDGs未来都市等進捗評価結果報告シート

2020年度選定

東京都豊島区

2024年9月

SDGs未来都市計画名

東京都豊島区 SDGs 未来都市計画  
消滅可能性都市からの脱却 ～持続して発展する「国際アート・カルチャー都市」への挑戦～

自治体SDGsモデル事業  
又は特に注力する先導的取組

国際アート・カルチャー都市実現戦略 推進事業

## 東京都豊島区 第1期SDGs未来都市計画：計画期間2020年～2022年

## (1) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2022年	2030年（目標値）	達成度 （%）	第2期計画（または独自計画）の KPIへの反映状況
1	フェスティバル/トーキョーへの来場者数【8.9】	2019年度 39,147 人	2022年 32,135 人	2030年 85,000 人	-15.3%	コロナ禍において集客が困難であったため数値が減少している。第2期計画では見直し、記載しないが、目標達成へ向け別の手法により推進を図る予定。
2	池袋副都心区域内の歩行者の滞在時間【9.1】	2019年 116 分/人・日	データなし	2030年 130 分/人・日	—	現時点では次回の調査時期は未定のため、中間時点での数値が取れず評価が難しいが、引き続き、第2期計画で進捗を確認していく。
3	池袋駅周辺の歩行者数【11.7】	2017年 112,400 人/12h	データなし	2030年 130,400 人/12h	—	現時点では次回の調査時期は未定のため、中間時点での数値が取れず評価が難しいが、引き続き、第2期計画で進捗を確認していく。
4	今後着手が見込まれる民間再開発事業投資額【8.3】	2019年度 0 円	2020年 1,113 億円	2030年 5,000 億円	22.3%	順調に進捗しており、引き続き、第2期計画で進捗を確認していく。
5	自立して活動を展開するエリアマネジメント団体数【11.7】	2020年 1 団体	2022年 2 団体	2030年 6 団体	20.0%	順調に進捗しており、引き続き、第2期計画で進捗を確認していく。
6	地域に愛着を感じている区民の割合【11.7】	2019年 79.4 %	2022年 84.6 %	2030年 85 %	92.9%	順調に進捗しており、引き続き、第2期計画で進捗を確認していく。
7	WEB等を通して発信する、多言語での生活基本情報（転出入手続きやゴミの出し方等）について【16.6】	2019年度 10 テーマ	2022年 10 テーマ	2030年 30 テーマ	0.0%	目標達成度が低いため、第2期計画では見直し、記載しないが、目標達成へ向け別の手法により推進を図る予定。
8	区内の交通事故発生件数【3.6】	2019年 549 件	2022年 561 件	2030年 500 件以下	-24.5%	目標達成度が低いため、原因を分析し、対策を検討しながら、引き続き、第2期計画で進捗を確認していく。
9	区民ひろばの安全・安心学習プログラム数と延べ参加人数【11.7】	2019年度 2,306 回	2022年 3,720 回	2030年 2,500 回	728.9%	プログラム数については目標を達成しているが、参加人数についてはコロナ禍において集客が困難であったため数値が減少している。継続的な実施により、引き続き、第2期計画で進捗を確認していく。
		2019年度 44,620 人	2022年 39,623 人	2030年 50,000 人	-92.9%	
10	セーフコミュニティの活動の認知度（考え方や活動を知っている/言葉は聞いたことがある）【17.7】	2019年度 32.5 %	2022年 35.3 %	2030年 50 %	16.0%	目標達成度が低いため、第2期計画では、より住民・行政・地域関係団体が協働して「安全・安心」なまちづくりを行い、取組達成へ向け推進を図る予定。
11	〇〇（様々なこと）ができる公園整備数【11.7】	2020年3月 2 か所	2022年 19 か所	2030年 22 か所	85.0%	順調に進捗しており、引き続き、第2期計画で進捗を確認していく。
12	区内の温室効果ガス排出量の削減（千t-CO2）【11.7、13.2】	2015年度 1,647 千 t	2020年度 1,437 千 t	2030年 1,102 千 t	38.5%	順調に進捗しており、引き続き、第2期計画で進捗を確認していく。

## (2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2022年 実績	2022年 目標値	達成度 （%）	第2期計画（または独自計画）の KPIへの反映状況
1	多様な文化事業の実施（文化を軸とした発信力の強化、来街者の増大に向けて）	池袋副都心区域内の歩行者の滞在時間	2019年 116 分/人・日	データなし	2022年 120 分/人・日	—	現時点では次回の調査時期は未定のため、中間時点での数値が取れず評価が難しいが、引き続き、第2期計画で進捗を確認していく。
2	安全で快適な歩行者空間の拡大（賑わいと人の流れの、まちへの拡大に向けて）	池袋駅周辺の歩行者数	2017年 112,400 人/12h	データなし	2022年 115,100 分/人・日	—	現時点では次回の調査時期は未定のため、中間時点での数値が取れず評価が難しいが、引き続き、第2期計画で進捗を確認していく。
3	公民連携による子育て支援等の推進（子どもと女性にやさしいまちづくりに向けて）	待機児童数ゼロ	2019年4月 16 人	2022年4月 0 人	2022年 0 人	100.0%	目標が達成されているが、今後も維持すべく、第2期計画にも記載し、進捗を確認していく。
4	公園等の効果的な整備・活用・ネットワークの構築（地域のニーズに応じた公園整備、防災対策に向けて）	区内公園の占用料および使用料	2019年度 55,855 千円/年	2022年度 91,737 千円/年	2022年度 60,000 千円/年	865.7%	目標が達成されたため、第2期計画には記載しないこととした。

## 東京都豊島区 第1期SDGs未来都市計画：計画期間2020年～2022年

## (3) 三側面ごとの取組の達成状況（自治体SDGsモデル事業又は特に注力する先導的取組）

No	取組名	取組内容	指標名	当初値	2022年	2022年（目標値）	達成度（%）	第2期計画（または独自計画）のKPIへの反映状況
1	①-1 国際的な舞台芸術祭「フェスティバル・トーキョー」の実施 ①-2 池袋駅周辺4公園の活用（文化イベントの実施等） ①-3 東アジア文化都市の交流都市（中国・西安市、韓国・仁川広域市）との文化交流事業 ①-4 公民連携により、まちづくり組織の活動を展開	賑わい・回遊性の拡大や、歩きたくなるまちづくりといった、公民連携による魅力ある都市空間づくり	池袋副都心区域内の歩行者の滞在時間	2019年 116 分/人・日	データなし	2022年 120 分/人・日	—	現時点では次回の調査時期は未定のため、中間時点での数値が取れず評価が難しいが、引き続き、第2期計画で進捗を確認していく。
			4公園における自立しているエリアマネジメント団体数	2020年 1 団体	2022年 2 団体	2022年 3 団体	50.0%	目標達成に向け、第2期計画でも引き続き取り組むこととした。
2	②-1 総合高齢社会対策の推進 ②-2 多文化共生の推進 ②-3 子どもの参加（区内保育施設IKEBUS活用事業） ②-4 池袋駅周辺4公園による安心の創出 ②-5 インクルーシブ公園の整備と園外保育の充実	高齢者の外出促進や、子どもの遊び場など、誰もが安心して楽しめる身近な居場所づくり	0～5歳の人口	2020年1月 11,673 件	2023年1月 10,973 件	2022年 12,680 件	-69.5%	目標達成度が低いため、第2期計画では見直し、記載しないが、目標達成へ向け別の手法により推進を図る予定。
			インクルーシブ公園の整備件数	2020年3月 0 件	2023年3月 10 件	2022年 5 件	200.0%	目標が達成されたため、第2期計画には記載しないこととした。
3	③-1 グリーンインフラの拡充 ③-2 低炭素地域社会づくり ③-3 協働による環境都市づくり	既存公園の有効活用や、新技術活用、協働による工夫に取り組んでいる	区内の温室効果ガス排出量の削減（千t-CO2）	2015年度 1,647 千 t	2022年度 1,437 千 t	2022年度 1,431 千 t	97.2%	順調に進捗しており、引き続き、第2期計画で進捗を確認していく。

## 東京都豊島区 第1期SDGs未来都市計画：計画期間2020年～2022年

## (4) 三側面をつなぐ統合的取組の達成状況（自治体SDGsモデル事業又は特に注力する先導的取組）

No	指標名	当初値	2022年実績	2022年目標値	達成度(%)	第2期計画（または独自計画）のKPIへの反映状況
1	【経済→環境】公園利用者数（対象3公園）※平日	2020年2月平日 6.0 千人/日	2022年度平日 8.0 千人/日	2022年度平日 6.6 千人/日	333.3%	目標が達成されたため、第2期計画には記載しないこととした。
	【経済→環境】公園利用者数（対象3公園）※休日	2020年2月休日 12.0 千人/日	2022年度平日 17.0 千人/日	2022年度休日 13.2 千人/日	416.7%	目標が達成されたため、第2期計画には記載しないこととした。
	【経済→環境】区内公園の占用料および使用料	2019年度 55,855 千円	2022年度 91,737 千円	2022年度 60,000 千円	865.7%	目標が達成されたため、第2期計画には記載しないこととした。
2	【環境→経済】池袋駅周辺の歩行者数	2019年 112,400 人/12h	データなし	2022年 115,100 人/12h	—	現時点では次回の調査時期は未定のため、中間時点での数値が取れず評価が難しいが、引き続き、第2期計画で進捗を確認していく。
	【環境→経済】池袋副都心区域内の歩行者の滞在時間	2019年 116 分/人・日	データなし	2022年 120 分/人・日	—	現時点では次回の調査時期は未定のため、中間時点での数値が取れず評価が難しいが、引き続き、第2期計画で進捗を確認していく。
3	【経済→社会】「多様な文化芸術活動が展開され、良質な文化芸術に接する機会が多い」と考える区民の割合	2019年度 40.6 %	2022年度 41.7 %	2022年 45.0 %	25.0%	目標達成度が低いため、第2期計画ではさらなる公民連携等によって取り組みを増幅させ、取組達成へ向け推進を図る予定。
4	【社会→経済】区の新設法人数（四半期平均）	2019年度 375 社	2022年 330 社	2022年 400 社	-180.0%	コロナ禍による経済活動の停滞の影響で目標値を下回っている。第2期計画ではさらなる区の魅力発信等を行い、取組達成へ向け推進を図る予定。
5	【社会→環境】IKEBUS利用者数	2020年1月 13,000 人	2022年（一月平均） 9,300 人	2022年（一月平均） 22,500 人	-38.9%	コロナ禍で減便していたことが原因で目標値を下回っている。第2期計画では見直し、記載しないこととするが、目標達成へ向け別の手法により推進を図る予定。
6	【環境→社会】住み続けたいと考える区民の割合	2019年度 82.2 %	2022年度 82.4 %	2022年 85 %	7.1%	目標達成度が低いため、第2期計画では見直し、記載しないが目標達成へ向け、別の手法により推進を図る予定。

## (5) 第1期SDGs未来都市計画の進捗評価結果を踏まえた総括

<p>●特筆すべき事業内容</p> <p>・(4)指標No.1の公園の利用者や、区内後援の占有料および使用料は、目標を大きく超えて達成している。背景として、「グローバルリング」では野外クラシックコンサート等様々なイベントを開催し、「イケ・サンパーク」では毎週ファーマーズマーケットを実施する他、子どもを対象としたイベント等を開催していること等考えらる。「イケ・サンパーク」のファーマーズマーケットでは、2022年度、2023年度の2年間、全部局が交替わりでSDGsブースを展開。行政の各部局がSDGsの取組を紹介し、地域の方々へ多分野の情報を発信した。また、各部局がSDGsブースを展開することで、職員が自分事としてとらえ今後のSDGs推進を行政全体で展開できるよう努めた。なお、各部局が進めてきたSDGsの取り組みを広く発信することはおおむね達成できたため、2024年度からは、「SDGs」のみならず「様々なテーマ」で各部局が紹介できるよう、ファーマーズマーケット所管の部署がとりまとめてブース出展を実施している。</p> <p>・(1)指標No.1については、コロナ禍において集客が困難であったため数値が減少している。第2期計画では見直し、記載しないが、引き続き事業所管課において取り組みを進め、進捗を確認していく。</p> <p>・(1)指標No.8については、目標達成度が低いため、原因を分析し、対策を検討しながら、引き続き、第2期計画で進捗を確認していく。</p> <p>・(1)指標No.9については、プログラム数については目標を達成しているが、参加人数についてはコロナ禍において集客が困難であったため数値が減少している。継続的な実施により、引き続き、第2期計画で進捗を確認していく。</p> <p>・(3)指標No.2については、目標達成度が低いため、第2期計画では見直し、記載しないが、今後も、安心して子どもを産み、育てることができる環境づくりのため、妊娠から出産・子育て期まで切れ目のない支援を行い、取組達成に向けて推進を図る。</p> <p>・(4)指標No.4については、区の新設法人数が目標値を下回ったことについては、コロナ禍での経済活動の停滞が原因と思われる。今後法人が豊島区で開設できるよう、ホームページの充実など引き続き区の魅力を発信する。</p> <p>●成果</p> <p>・本区は2022年に豊島区制施行90周年を迎え、区民や地域団体、そして企業の皆様と一緒にSDGs推進をしていく気運を醸成した。90周年を機に発足した企業実行委員会には約280社の企業が参加。企業実行委員会が主体的にSDGs推進セミナーを開催し、企業同士の横のつながりを広げてきた。2023年より、豊島区のまちをもっとよくすることを「企業」と「行政」で考えて動く官と民が連携した豊島区ならではの新しいプラットフォーム「チームとしま」を発足。17番のゴールを意識しながら、企業の皆様と一緒に地域課題解決に向けて、企業と区が定期的に意見交換を行い、官民の連携を進めている。</p> <p>●課題</p> <p>・多文化共生の推進について、外国籍等区民の増加や定住化が進む中、指標の目標達成度が低い状況となっている。外国人専用窓口を設置するなど、外国人への支援充実を図る。</p> <p>●今後の展望</p> <p>・2024年7月1日に、区役所内に「外国人専用の相談窓口」を設置し、外国人区民の皆さまからの相談、多言語情報発信の拠点として、より生活を親身にサポートできるよう対応を強化した。今後も、国・東京都および区内外国人支援団体等と連携しながら、外国人への支援を進め、多様な区民が互いに尊重して安心して暮らせる多文化共生社会を目指す。</p> <p>・今後も引き続き、特色ある4公園を活用しながら、回遊性を生み出し、にぎわいを創出するとともに、さらなるまちの価値の向上を図っていく。また、2023年度に新たに発足した「チームとしま」と連携し、様々な地域課題の解決に向けて、官と民が一緒になってまちの発展に向けて事業を進めていく。</p>
---

## (6) 有識者からの取組に対する評価

<p>・「IKEBUS」については、池袋を訪れた人のトリップのニーズを汲んで、現在のルートが最適かについて、再検討しても良いかもしれない。</p>
---